

行政手続簡素化の進捗状況について (補助金申請システム(Jグランツ))

内閣府規制改革推進室
総務省
経済産業省
中小企業庁

■ 前回WGで課題とされた事項への対応

対象補助金を拡大するとともに、Jグランツ2.0の開発体制を構築の上、開発を進めていく。

1. 対象補助金の拡大について

- Jグランツ1.0の経験を活かし、令和2年度は基本機能を開発。ユーザーの利用体験を改善して令和3年度予算から利用。既にJグランツ1.0を利用している補助金を対象とする。
- 令和3年度の開発で政府内の他システムとの接続環境を整備。
 - 既存のJグランツ利用補助金を中心に順次拡大。
- 令和4年度からはバックオフィス業務や検査も含め電子で実施可能とする。
 - 審査や書類の紙保存を不要化。利用対象補助金を国・自治体双方で拡大。

2. Jグランツ2.0の開発体制、開発状況、方向性

- アクセンチュアが主として開発を担当。伊藤忠テクノソリューションズも開発支援を担当し、体制を強化。
- 経産省側も担当CIO補佐官、デジタル化推進マネージャー等のIT人材を開発にアサイン。
- Jグランツ2.0では、ユーザー体験の向上として、以下のような機能を実装予定。
 - 検索機能の拡充
 - 入力しやすい申請画面
- データ項目のみならず添付ファイルも含めたワンスオンリーを実現していく。

政府内Jグランツ体制

全体統括： 内閣官房IT総合戦略室三輪CIO
内閣府規制室井上統括官
経済産業省平井商務情報局長

報告等

中小企業等生産
性向上WG

向井内閣審議官(政府副CIO)
時澤内閣審議官(政府副CIO)
江口内閣審議官(政府副CIO)

関係省庁連絡会議(※2)

経産省情報化・サイバー審議官 江口審議官

総務省地域力創造審議官 大村審議官

システム
開発・運用

IT室・経産省

政府内展開

自治体展開

IT室・総務省
(協力:経産省)

Jグランツ
1.0(現行)

Jグランツ
2.0

次ページ

共通課題
(※1)

IT室
(協力:経産省)

経産省内
の展開

経産省

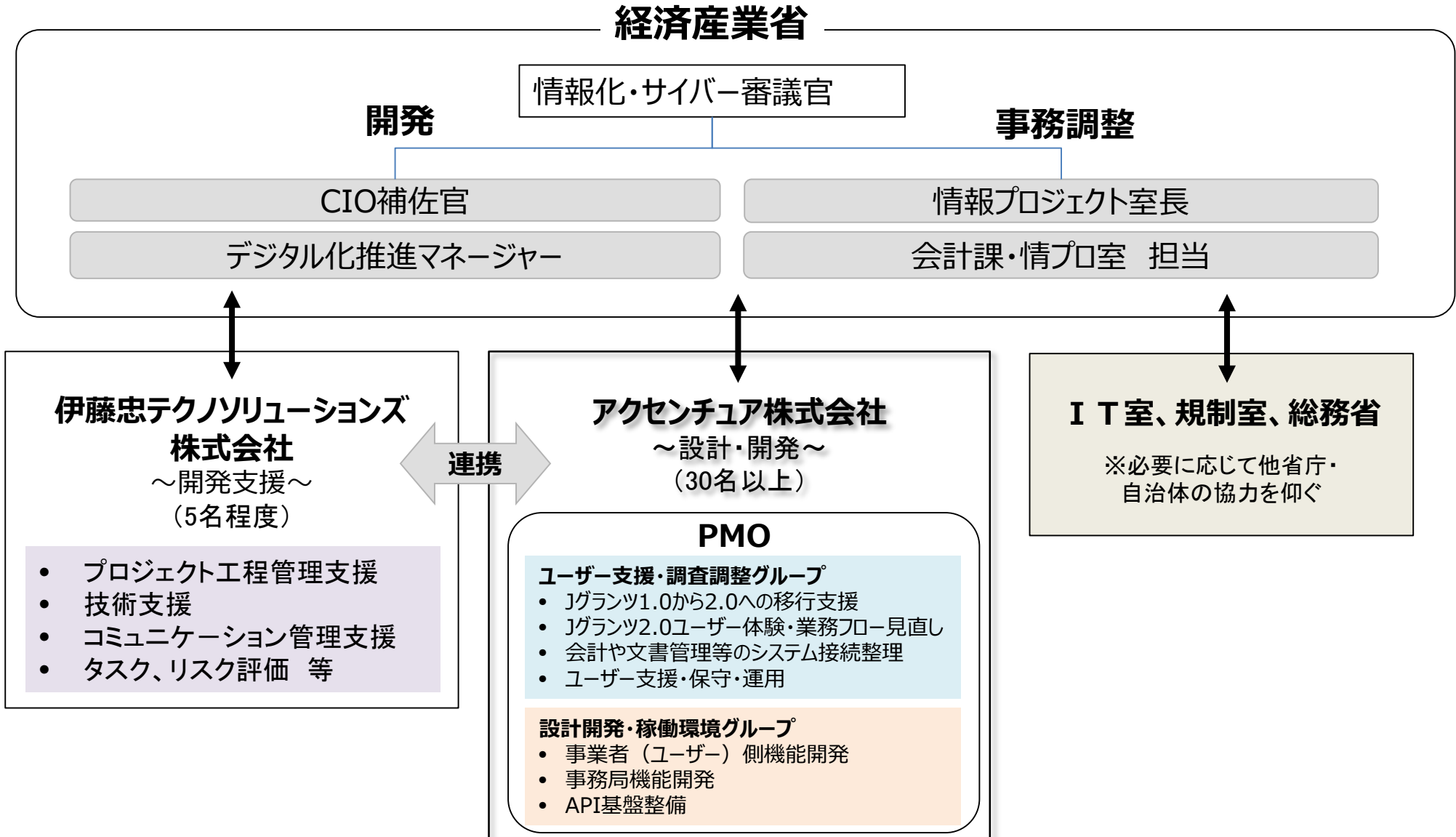
関係省庁
への展開

規制室
(協力:経産省)

※1 関連システムや
制度・規程類との調整を想定
※2 原則管理職級、必要
に応じ局長級、審議官級で
の開催も検討

J グランツ2.0開発体制

- アクセンチュアが主として開発を担当。伊藤忠テクノソリューションズも開発支援を担当し、体制を強化。
- 経産省側も担当CIO補佐官、デジタル化推進マネージャー等のIT人材を開発にアサイン。



Jグランツ2.0の主な改善点（1.0の課題との対応）

【Jグランツ1.0（現行版）の課題】

＜申請者側の課題＞

- ユーザーインターフェースが使いにくい（申請項目を全て埋めなければ一時保存ができない等）
→**現行版で可能な範囲で改善**
- 添付ファイルがなくても空ファイルの添付が必要
→**既に解消済み**
- 補助金の検索が難しい
→**簡易な検索機能を実装予定**
- 添付ファイルのワンスオンリーができない

＜行政職員側の課題＞

- 公募手続、交付手続等一部の手続機能のみを活用することが難しい
→**ものづくり補助金では交付申請のみで活用できるように工夫。**
- 同じ補助金でも地方局が執行する等、**事務局が異なる場合、補助金を別々に立てる必要あり。**
- 文書管理システムや会計検査のシステムと**他省庁のシステムと連携していないため、紙が必要であり、プロセスが十分簡素化されない。**
- 自治体の多くではインターネットと分離されたローカル環境内で業務をしており、**利用できる自治体が限定的。**

【Jグランツ2.0（本格版）の方向性】

＜申請者機能の改善＞

- **ユーザー視点に立ったインターフェースデザイン**
- **検索機能の強化**
- データ項目のみならず**添付ファイルも含めたワンスオンリーを実現。**
- **民間サービスのインターフェースとも連携し、補助金申請ができる形を目指す（例：会計ソフト、メッセージングサービス等）**

＜行政職員向け機能の改善＞

- 補助金申請手続の一部の機能のみでも活用可能な形でシステムを構成。公募、交付、支払、監査等、**手続プロセス単位でシステムをモジュール化。**
- システム内の事務局の**管理体系・権限設定の仕方について見直し。**
- **文書管理、会計検査等、各システムの次期改修が近いことから、これらと接続できるよう、システムを構築。**
- **自治体のローカルネットワークとの接続を実施。**

J Grants 2.0の主な改善点（申請者機能の改善）

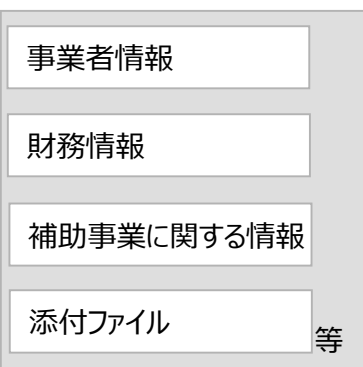
- ユーザー体験の向上として以下のような機能を実装予定。

【画面イメージ】

① 検索画面イメージ



② 公募申請画面イメージ



プレ入力



【機能拡充の概要】

検索機能の拡充

- 補助金名だけでなく、**支援カテゴリ、対象規模、補助の目的**なども検索できる改修を予定。
- 受付事務を行う組織が異なっても、同一補助金制度は、1つのみ表示し、表示の一覧性を見やすく改善。

入力しやすい申請画面へ

- J Grants 1.0ではJ Grants内の申請情報からのワンズオンリーを実現していたが、2.0ではさらに**添付書類などワンズオンリーの範囲を拡大**予定。
- 2.0ではさらに**中小企業庁ミラサポPlus**や**法人プラットフォーム**からのワンズオンリーを実現予定。
- **その他、一時保存機能**を追加。

【具体例】

国の補助金と同一目的の自治体の補助金を申請する際のイメージ

- 例えば、「ものづくり」などのキーワードで検索。
- ⇒国の補助金と、同一目的の自治体の補助金などが検索結果に表示。



- 国の補助金で入力した申請情報や添付書類について、**自治体の補助金でも、申請情報等のプレ入力、添付ファイルの活用が可能。**



これらの改善により、同一自治体の同一目的の補助金が、ストレスなく申請可能に。



今後のスケジュール（今年度）

日付（現状予定）	開発上の動き	事務局に発生する動き （各年度で募集が単発の補助金）
8月28日		経産省等からの説明会（第1回） （Jグランツ2.0の概要告知等）
10月後半	Jグランツ2.0テスト版(※主要機能) リリース	
10月後半 ～11月上旬		経産省等からの説明会（第2回） （システム構成等、各事務局での要対応事項の告知）
11月中旬～ （準備でき次第）	Jグランツ2.0テスト版のデモ環境開放	ユーザテストの実施
12月下旬	Jグランツ2.0初版（公募～交付の手 続部分）リリース	
R3年1月以降		R3 予算補助金の公募開始
R3年1～3月	Jグランツ1.0掲載データ（公募情報、 事業情報等）のデータ移行	移行の具体的な方法、スケジュール及び必要な作業等 については説明会（第2回）にて説明予定
R3年3月	Jグランツ2.0第2版（支払～検査・監 査の手続部分）リリース	

- ・Jグランツ2.0の初版と第2版の内容は開発の進捗によるため変更が生じる可能性あり。
- ・各年度で単発募集のサイクルに該当しないもの（通年募集や、コロナを受けて今年度特殊な募集状況にある補助金）は、これに依らず、個別にスケジュール調整。
- ・データ移行については、基本的には事務局や事業者が入力や添付等を行った全てのユーザデータ（補助金の公募情報や申請情報など）を移行。

今後のスケジュール（今後3年間）

- Jグランツ1.0の経験を活かし、まず令和2年度は基本機能を開発。**ユーザーの利用体験を改善して令和3年度予算から利用**。既にJグランツ1.0を利用している補助金を対象とする。
- 令和3年度の開発で政府内の他システムとの接続環境を整備、**令和4年度からはバックオフィス業務や検査も含め電子で実施可能とし、審査や書類の紙保存を不要化**。利用対象補助金も国・自治体で拡大。

